

Q&A がけ崩れの予防対策は？

A がけ崩れの予防対策は、我が家の宅地を守るのと同様に、隣り合う宅地に被害を及ぼさないようにするためにも大切です。

日頃のケアを行うとともに必要な対策工事を検討しましょう。

一日頃のケア

- がけに異常がないか状態が見えるように、雑草を放っておかないようにしましょう。
- がけ側に雨水などを流さないように、排水溝を整備しておきましょう。
- がけ地の斜面にある不安定な木などは除去しておきましょう。
- 梅雨や台風期の前や、大雨の後は、がけの状態を調べ、崩れそうになったら必ず修復をしましょう。

一対策工事

- がけが不安定な状態にある場合には、がけが崩れないようにするための擁壁ようへきの設置や水抜き穴、排水溝の設置、がけ面の保護といった対策工事や、がけ崩れが生じた場合に、土砂を受け止めて建物への被害を軽減する待ち受け擁壁ようへきを設置するなどの対策工事が必要となります。

危ない『がけ』の連絡方法

下記の連絡先まで、電話又はファックス、電子メール等により、がけ地の正確な所在(住所又は地図)、連絡される方の氏名・連絡先をお知らせください。

連絡先

けんちくぶ けんちくしどうか かいはつしどうか
長崎市 建築部 建築指導課 開発指導係

〒850-8685 長崎市魚の町4番1号

電話(直通): ☎095-829-1176 、 ファックス:095-829-1168

メールアドレス kenchiku_shidou@city.nagasaki.lg.jp

古い石垣が危ない!?

危ない『がけ』はありませんか？



- 市では、がけの所有者等へ、適切に管理していただくよう 助言・指導を行っています。
- ひび割れ、ずれ、ふくらみ、傾いている等の『がけ』がありましたら、情報をお寄せください。 (内面参照)
- 連絡方法は、裏面をご覧ください。

令和5年4月

けんちくぶ けんちくしどうか かいはつしどうか
長崎市 建築部 建築指導課 開発指導係

『がけ』の一例です。この他にも、ご心配な『がけ』がありましたら、建築指導課までご連絡ください。

ひび割れ

ひび割れが広がり、前後または上下にずれている。



ふくらみ

前方への「ふくらみ」が大きくなっている。



ずれ

目地部の前後のずれが拡大している。



かたむき・おれ
傾き・折れ

傾いている。
途中で折れている。



ふどうちんか
不同沈下

上下の段差が拡大している。



ぬけいし
抜け石

目地がずれ、石が抜けている。

